



南部町立南部中学校 学校だより 第19号

千一ム南部中

令和2年 1月17日 (金)

校長 望月和彦

1年間のまとめの学期、3学期が始まりました

1月9日、3学期の始業式を行いました。気温が低く、体調不良の生徒もいたことから、場所をいつもの体育館から蒙軒ホールに移して行いました。いつもの場所と違い、令和の年始めだということもあったのか、いつもより緊張感を持って式は行われました。毎回、終業式や始業式では、学年代表の3名と生徒会代表の1名の生徒が、今学期の反省や新学期の抱負を述べますが、個人としての成果と課題だけでなく、学年としての反省、これからの目標を自分の言葉で堂々と発表してくれます。今回、1年代表の佐野遥斗さんは「学年目標を考えるとまだまだ完璧ではない。お互いの声のかけ方を工夫して、一人ひとりが自分自身の考えや意見を持って行動できるよう頑張りたい。」2年代表の齋藤昴さんは「2学期は学年や一人ひとりの良さを見つけることができた。今学期は3年生になるための0学期として、関わり合いを大切にしながらさらに良い方向に変化していきたい。」3年代表の柿島佑海さんは「56人全員が第一志望に合格できるよう1秒も無駄にせずがんばりたい。後輩たちに南部中の伝統をどう引き継いでいくのかを考えて、5つの目標を意識して10周年に引き継げるようにしたい。」生徒会代表の依田紗采さんは「創立10周年に向けて、3年生の姿を見習っていきたい。新生徒会の最初の大きな行事である3年生を送る会を成功させたい。物事の本質をとらえて、日々本気で取り組んでいきたい。」と、4人ともとても立派な発表でした。こうした始業式、終業式での堂々とした発表も、南部中の文化・伝統として受け継がれていることを感じます。



私は、始業式の中で次のような話をさせていただきました。

…(略)…新年6日には嬉しいニュースがありました。中央市出身の平野美宇選手が東京オリンピックに内定したことです。平野選手は小さい頃から期待されていて、数々のタイトルも取りましたが、一番の目標はオリンピック出場でした。目標達成は簡単なことでなく、今回出場が決定するまでには大きな挫折を何度も味わいました。私が一番印象に残っているのは2016年のリオオリンピックの時です。美宇さんは会場にはいきましたが、サポートメンバーとしてメダルを取ったメンバーを応援することしかできませんでした。とても悔しい思いをしたことでしょうか。一時はラケットを持ちたくなくなり、卓球を止めようかとも考えたそうです。でも、夢をあきらめずその後4年間努力を続けました。年末の個人戦の選手選考ではまたも残念な結果になったのですが、最後の最後に今までの実績が評価され団体戦メンバーとしてオリンピック選手に選ばれました。2学期講演をしてくれた杉本美香選手も柔道をやりたいという思いをあきらめずに持ち続けた人でした。二人ともオリンピックという世界の晴れ舞台への出場を目標にして努力し、それを達成し、杉本選手は銀メダルも獲得しました。二人とも応援してくれる方々やふるさとに喜びや希望を与えてやりたいと述べていました。…(略)…令和2年の年始めに、皆さんにも自分の夢をしっかり描いて、多少の苦しさや挫折に負けず、一つのことを粘り強く取り組んでもらいたいと思います。人のためになることならスポーツに限りません、勉強でも、趣味でも、もの作りでも、清掃でも何でも良いと思います。中学3年間で結果が出ないかもしれませんが、それでもあきらめず長年努力してきたことは、必ず自分自身の力になると思います。皆さんには、そんな夢や目標をもってほしいと思います。

9日の始業式のあと、年始めの行事として校内書き初め大会と新春百人一首大会を行いました。

「校内書き初め大会」

3・4校時には書き初め大会を行い、1年生は「初夢」、2年生は「山紫水明」（山や川の風景がけがれなく美しいこと）、3年生は「和氣致祥」（気持ちが穏やかだと幸せになれること）を行書で書きました。この日のために、生徒たちは2学期末の国語の授業や冬休みの宿題で練習を積み重ねてきました。より美しく整った字を書こうと、全校生徒が気持ちを集中して書写に取り組む様子が見られ、校舎の中はピンと張り詰めた空気になりました。各自満足できる作品ができあがったようです。

作品は教育祭県下小中学生書き初め大会に出品され、町の新春書道展にも育成会ごとに展示されます。



「新春百人一首大会」

午後は、体育館と柔剣道場を使って学習委員会主催の百人一首大会を行いました。1チーム3～4人のチームをつくり、「源平合戦方式」で競技します。今年度も学校支援ボランティアの近藤真紀子さん、稲葉愛さん、木下進巨さんが参加してくださり、大会を盛り上げてくれました。自分の得意な歌を決めて「この札だけは」と札を絞って狙っている生徒もいれば、ほとんどの歌を覚えていて、上の句の最初が読まれただけで札を取ってしまう達人もいました。近藤真紀子さんは大会に出場するときの袴姿来てくださり、生徒代表の望月美月さんと模範試技も見せてくれました。日本の文化を全校で楽しみながら学ぶ機会となりました。



年末年始の出来事

12月14日（土）**県アンサンブルコンテスト**（YCC文化ホール）

吹奏楽部代表6名が管楽打楽器六重奏で出場し、「動物の謝肉祭よりⅠ象終曲」を演奏しました。2年生2名、1年生4名が力を合わせとても良い演奏でした。銅賞を受賞しました。

12月21日（土）**「俳句の里」笛吹市小中学生俳句会表彰式**

3年の國友陽平さんが「大門の 仁王の怒り 青嵐」で知事賞、渡辺瑚乃香さんが「涼風や 千手それぞれ 仏具持つ」で笛吹市議会議長賞、四條桜恵さんが「人波に 押されて花の 金閣寺」で佳作、南部中学校が学校賞を受賞しました。

12月25日（水）～28日（土）**JOC 全国都道府県対抗中学バレーボール大会**（大阪市）

3年生の佐野空人さんが、県代表チームメンバーとして出場し、活躍しました。

1月11日（土）・12日（日）**県ジュニアバレーボール大会**

男女ともに予選リーグを勝ち上がり、決勝トーナメントに進出。男子は準決勝で敗れ、第3位に。

※男女ソフトテニス部、男子バスケットボール部の1年生は、それぞれの「1年生大会」に出場して、経験を積みました。

昨年4月より部活動指導員として、男子バスケットボール部を指導してくださっている石川啓一郎先生が、ドローンを使って南部中を空撮してくれました。もっとご覧になりたい方はホームページで！

